

広報

しらかわ

10

2016
No.131

絆
創造と交流が奏でる
感動の舞台





白河文化交流館「コミネス」

10月23日(日)オープン

白河文化交流館「コミネス」が約2年8か月の建設期間を経て、10月23日に開館します。

JR白河駅から歩いて3分、市立図書館りばんに隣接し、地下1階、地上4階の鉄骨鉄筋コンクリート造りで、小峰城を望む中心市街地に立地しています。北側駐車場には約300台の駐車スペースがあり、会津町の洞門を通過して西側サブエントランスからコミネスに入ることができます。本市の文化芸術の拠点として、舞台芸術など様々な事業を開催し、市民の皆さんが利用しやすい施設となることを目指します。

光の差し込む広々とした空間、人と文化を繋げるステージなどに、ぜひ足を運んで体感してください。



「そばの花見会（東下野出島）」(9月11日)

開館に向けてのご挨拶

先の大震災を乗り越え、文化交流館コミネスがいよいよ開館します。

会館整備に際し、5年前に建設検討委員、運営管理検討委員会アドバイザーになって以来、白河の地に通り会館整備の過程に参画してまいりました。この度、館長の指名を受け職責の重さをひしひしと感じているところです。

公立文化施設の中で、我が国のホール系の法整備は、今世紀に入ってから急速に進みました。特に人材・組織、創造・専門性といったソフト面の強化が叫ばれています。こうした流れに呼応しながら、「市民共楽」という素晴らしい先人の哲学をコミネス運営の基本理念とし、地域資源を最大に活用する企画、次世代の子どもたちに良質な舞台芸術に触れてもらう事業などを積極的に行ってまいります。



コミネス館長
志賀野桂一

皆様には心地の良い空間で、素敵な時間を味わっていただければ幸いです。

市民が20年来待ち望んでいた白河文化交流館コミネスが、利用者ニーズに対応した音響、照明装置など最先端の技術を導入したホールとして、いよいよ、10月23日にオープンいたします。

このコミネスは、松平定信公の精神に基づく「市民共楽」を基本理念に、誰もが気軽に訪れることができる施設として、芸術的価値の高い多様なジャンルの事業を実施してまいります。

また、隣接する図書館との連携により、文化芸術を継承、創造、発信する場、人々が共に生きる絆を形成する「新しい広場」としてまいります。

文化芸術は、人々に感動をもたらすばかりでなく、心豊かな生活を送るためには不可欠なものであり、文化レベルの向上が、人づくりやまちづくりにつながるものです。

本市の復興の象徴とともに、文化芸術の拠点として、永く市民の皆様が愛され、親しまれる施設となることを念願しております。



白河市長
鈴木和夫

目次 - CONTENTS - 2016.10.1 No.131

- 02 季節の写真／今月の表紙／目次
- 03 特集1／白河文化交流館「コミネス」オープン
- 06 特集2／白河提灯まつり
- 10 Topics
- 12 Information 1／Decoraしらかわ2016 ほか
- 14 ラウンジ～様々な情報をお届け～
- 16 図書館情報
- 17 白河文化交流館「コミネス」情報
- 18 施設情報／歴史民俗資料館、集古苑、東文化センター ほか
- 19 白河が誇る優れた産品を紹介！／白河歴史人物伝
- 20 暮らしの情報館
- 24 子育て情報
- 25 保健情報
- 26 日曜窓口・納期限／人口／献血 ほか
- 27 市長の手控え帖
- 28 今月号の締め一杯／人物Report

今月の表紙



今月号の表紙は、10月23日に開館する「白河文化交流館コミネス」の大ホールです。

音響を考慮した木リブで囲い、5種類の異なった色の椅子が配置された客席は、ホール内装色とも調和しています。舞台との距離が近く、華やかさと臨場感があふれる舞台を味わうことができます。

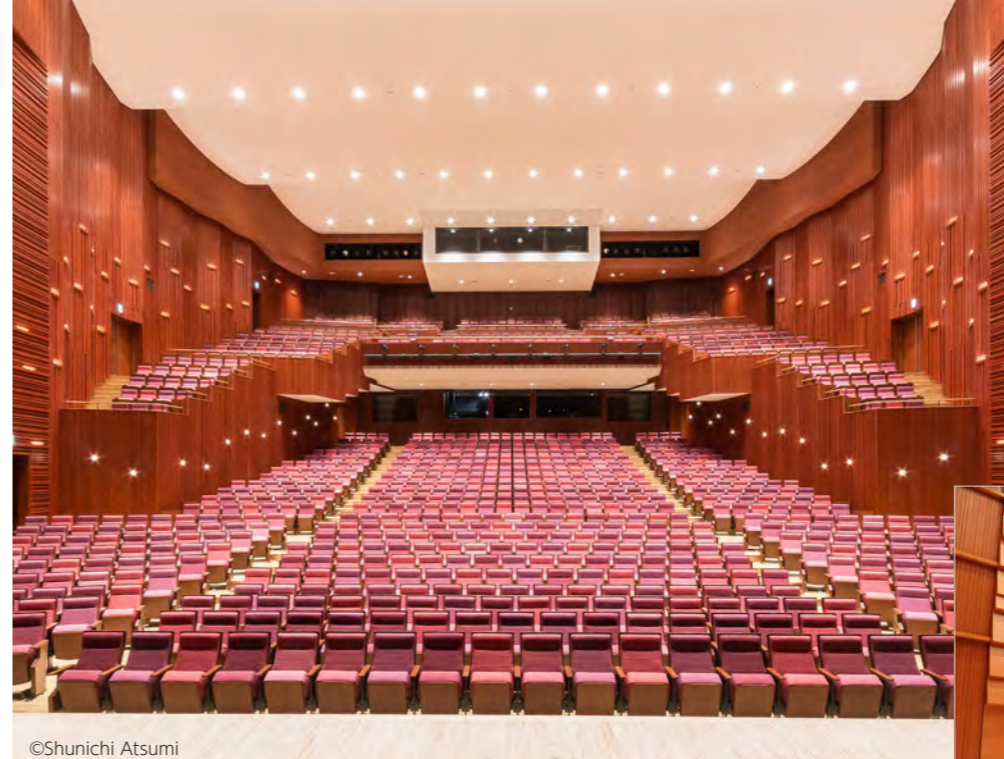


カギガタモール

東側メインエントランスと西側サブエントランスをつなぐカギガタモールは、日常的に市民が集い、交流し、安らげる空間です。
中央に設置した中庭では、サロンコンサートなども行うことができます。

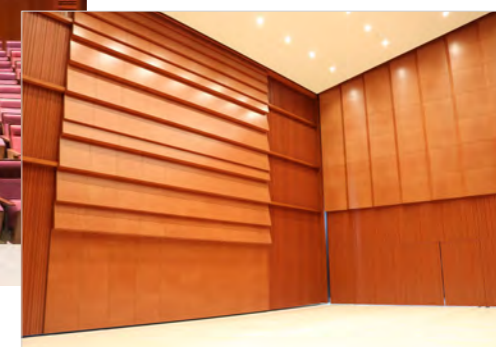


◀中庭



大ホール

高い音響性能を持つ多機能ホールです。
可動式の音響反射板を有し、本格的なクラシックコンサートから、歌舞伎、演劇など多様な舞台芸術に対応できます。
2階席両脇が緩やかに張り出す「もみあげ式」客席により、客席が舞台を取り囲み、演者と観客の親近感を醸し出します。



◀音響反射板

©Shunichi Atsumi

客席数 1,104席 (うち多目的鑑賞室8席、車椅子席6席)

施設利用例

《講演会開催のため、大ホールと楽屋（1室）を1日（平日午前9時から午後5時まで）利用する場合》

項目	利用料金
大ホール（冷暖房費込）	62,600円
楽屋1室	1,120円
照明セットA（講演会程度）	12,000円
拡声装置1式	6,000円
マイク（有線）1本	1,600円
ワイヤレスマイク1本	2,000円
演台・司会者台各1台	2,000円
吊看板1式	1,600円
合計	88,920円

上の料金はあくまで参考例です。ご利用を希望される場合は、コミネスに直接お問い合わせください。

☎コミネス ☎5300

コミネス News



▲左から兼子社長、伊藤常務執行役員、鈴木市長

8月31日、白河文化交流館「コミネス」大ホールで、落成引き渡し式が行われました。
式では、施工業者の大成建設の伊藤昌昭常務執行役員東北支店長、兼子組の兼子聡社長から、鈴木市長にコミネスの模擬キーが手渡されました。



段床形式

©Shunichi Atsumi

客席数 321席 (うち多目的鑑賞室4席)

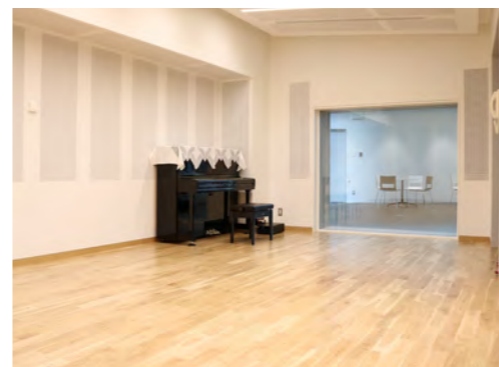


平土間形式

©Shunichi Atsumi

小ホール

プロの舞台芸術から、市民の文化芸術活動まで幅広く対応できる多機能ホールです。
客席を収納し平土間形式へ転換することで、会議室やギャラリーとしての利用も可能です。



練習室

カギガタモールに面する、遮音性の高い2つの練習室は、楽器の演奏や合唱、演劇活動、バレエの練習に最適です。
ピアノやアンプ、ドラムセットなどが整っています。



白河 提灯まつり

9月16日から18日までの3日間、白河提灯まつりが開催され、勇壮な行列と幻想的な提灯の明かりが、多くの観客を魅了しました。今月号では、提灯まつりの熱い様子を写真やインタビューでお届けします。

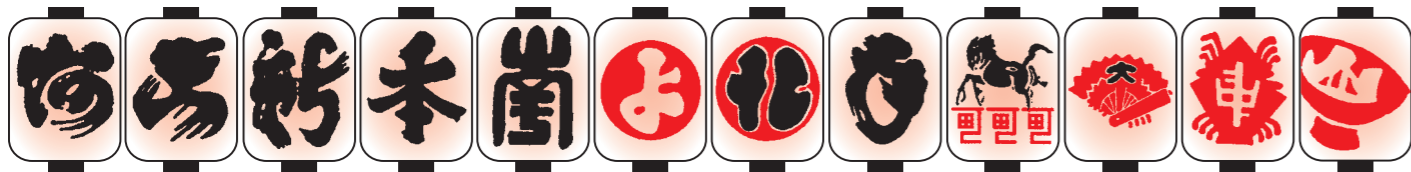


まつり2・3日目の昼間の時間帯は、子どもたちによる屋台や山車の引き回しや、町内渡御が行われました。楽しそうに屋台を引いたり、元氣にお囃子を奏でる子どもたちの様子は、夜の提灯まつりとは違った見どころのひとつです。また、各町の山車にはそれぞれ特徴があり、見事な彫刻の屋根飾りなど、提灯まつりの歴史と伝統を感じることが出来ます。

町内渡御は、袴姿の壮者が神社神輿をかついで次の町まで運びます。町から町へと神輿が引き継がれる際にもさまざまな口上と儀式があり、厳肅な雰囲気市内を進んでいきます。



1. 神橋を渡る神社神輿 2. 出発の儀式を終え、鹿嶋神社から運び出される神社神輿 3. 中学生の元気な高張提灯 4. 各町の提灯に灯がともされ、幻想的な雰囲気に包まれる境内 5. 神輿を先導する先達提灯 6. 壮者の手に持つ提灯の明かりが、阿武隈川の水面に揺れる渡河の様子



先達 大工町 新蔵町 本町 南町 横町 田町 年貢町 馬町 大町 中町 金屋町 (愛宕町)



天神町 昭和町 向寺 鍛冶町 道場町 丸の内 登町 会津町 旭町 中田 宮本 (桜町)

まつりを通して成長する子どもたち



宮本壯者筆頭 水野谷和聖さん

提灯まつりは、伝統を重んじる厳しい面もありますが、子どもたちは2年に一度の開催をとても楽しみにしています。おはやし太鼓の練習が始まると、学校や年齢の違う子どもたちが一か所に集まり、あいさつや礼儀作法、昔ながらの伝統などを教えられます。提灯まつりを通して、地域の絆や誇り、互いに助け合う精神を学びながら、子どもたちは成長していきます。これも提灯まつりの素晴らしさであり、次の世代へ引き継いでいきたいと思ひます。

まつりの魅力を広めるために



宮本氏子総代 須永敏行さん

桜町は、御旅所があり、神社に一番近い町であったことから宮本と呼ばれ、最後尾から行列を警護し、神輿を守り、祭事を取りまとめる役割を担っています。より良いまつりにしていこうと、これまでいくつかの新たな試みを実施してきました。氏子壮者会では、お囃子、お神輿、高張提灯など、まつりの雰囲気と魅力を子どもたちに伝えるため、今年も出前講座を実施しました。自分たちが楽しみ、市民や観光客も一緒に楽しめるまつりにしていくため、今後もまつりの魅力を広めていきたいと思ひます。

受け継がれてきた歴史と伝統

日本三大提灯まつりの一つに数えられている白河提灯まつりは、正式には「鹿嶋神社祭礼渡御祭」といい、当地方の総鎮守として、古くから人々の信仰を集めてきた、鹿嶋神社の例大祭です。現在行われている神輿の町内渡御・提灯行列・屋台や山車の引き廻し等のまつりの形態は、江戸時代初期の徳川家綱時代、藩主本多能登守忠義が神輿を寄進したことに始まると伝えられています。武家社会の格式を取り入れた、厳格な作法により執り行われる様々な儀式が最大の特徴で、別名「儀式まつり」とも呼ばれています。約360年にわたり、世代をこえて受け継がれてきた歴史と伝統を、次の世代へ継承しようとする方々の思いや引き継ぐ子どもたちの様子を紹介します。



1. 他の町との合同練習の様子。練習を通して、他町とのつきあい方も学びます 2. 先達提灯の先を見つめる目は真剣そのもの 3. 大人の笛にあわせて、お囃子太鼓の練習に打ち込む子どもたち 4. まず、靴をきれいにそろえることから練習が始まります 5. 威勢の良い掛け声が町内に響き渡ります 6. 先達提灯の技に磨きをかける厳しい練習は2か月間にも及びます

Interview

まつりを終えて



神社境内での最後のお手打ちには、一つの目的に向かってやり遂げた充実感と地域で生まれ育った喜びにあふれた顔が並びました。私も今、白河提灯まつりが市民の心の拠りどころとして、老若男女多くの方々のご参加とご協力を得て、359年の歴史と伝統を継承できた安堵感とともに、感動を覚えています。胸を張り、竿の先端をじっと見つ

鹿嶋神社宮司 和知 延さん

めて上げ下げする先達提灯。神輿を担ぎ、川を渡る緊張した表情の壮者。屋台や山車の上で、笛や太鼓を精いっぱい演奏する子どもたち。その一つ一つの光景がまだしっかりと目に焼き付いています。このまつりのために、昼夜分かたずご尽力いただいた、すべての皆様に御礼を申し上げます。

Interview

白河提灯まつりへの思い



わたなべ ちから 渡辺 力さん (本町/先達提灯係長)

本町は2本の先達提灯を、きれいにそろえて上げる妙技を磨いてきた町内です。練習は厳しいですが、伝統を自分たちが受け継ぎ、そして次の世代へと引き継いでいきたいと思ひます。



ふじたさいか 藤田彩香さん (桜町/白三小6年)

提灯まつりが大好きです。自分の町のお囃子曲があることを誇りに思ひます。お囃子での参加は今年が最後なので、練習も精いっぱいがんばりました。次回は高張提灯に挑戦したいです。



▲大信名物石引きレースで力自慢を競う参加者

ふるさと川まつりin白河たいしん名物石引きレースで力自慢

8月27日、大信公民館前特設会場（大信町屋）で、「2016ふるさと川まつりin白河たいしん」が行われました。

大信こだま太鼓の演奏やよさこい踊り、トマトの早食い大会、大抽選会など様々なイベントが行われたほか、地元グルメや地域の特産品を販売する出店が並び、多くの来場者が楽しいひと時を過ごしました。

なかでも重さ300キロの白河石を引き、早さを競う名物石引きレースでは、大きな歓声が上がりが会場を一層盛り上げました。



▲企業担当者の説明に熱心に聞き入る高校生

福島県しらかわ地域企業展示交流会ものづくり企業の技術をPR

9月6日、グラウンドエクシブ那須白河（西郷村）で、しらかわ地域のものづくり企業を紹介し、地域産業の活性化を目指す「福島県しらかわ地域企業展示交流会」が行われました。

高校2年生を中心とした約320人が招待され、各企業のプレゼンテーションが行われたほか、企業ブースでは、42の地元企業や団体が自社の特色や技術、製品などをPRしました。

会場では、商談や情報交換を行う企業関係者や熱心に出展者に質問する高校生の姿などが見られました。



▲1キロコースで小学生と走るゲストランナーの中島さん

第15回しらかわ郷里マラソン 初秋の田園を駆け抜ける

9月10日、東風の台運動公園（東釜子）をスタート・ゴールに「第15回しらかわ郷里マラソン」が行われ、全国各地から集まった約1,300人のランナーが、初秋の田園を駆け抜けました。

5コース24種目で健脚を競い合ったほか、本市出身でダイハツ陸上競技部で活躍した中島いづみさんがゲストランナーとして参加し、子どもたちと一緒にゴールを目指しました。

沿道からは温かい声援が送られ、参加者には、地元の梨やきつねうち温泉の入浴券などが贈られました。



1. オープニングでテープカットを行う関係者 2. 会場に並び、秦姫の豪華な雑飾り 3. 松浦史料博物館岡山館長による展示解説 4. 茶道鎮信流の呈茶によるおもてなし

特別企画展「松平家と松浦家」オープニングセレモニー

9月10日、白河集古苑（郭内）で、特別企画展「松平家と松浦家―秦姫の婚礼調度と松浦家の名宝―」が開幕し、オープニングセレモニーが行われました。

九州の名門平戸藩（長崎県）松浦家と白河藩松平家は、江戸時代に両当主松浦清（静山）と松平定信が文人として交流を深めたことが縁で、定信の娘秦姫が静山の嫡男熙に嫁ぎました。

今回の展示は、（公財）松浦史料博物館の特別協力により、松浦家伝来の美術工芸品や秦姫ゆかりの婚礼調

度品などを東北で初めて一堂に紹介するものです。

セレモニーに先立ち松浦鎮信創始の茶道鎮信流による呈茶が行われた後、鈴木市長が挨拶し、松浦家第41代当主でもある松浦史料博物館松浦章理事長が祝辞を述べ、関係者がテープカットで開催を祝いました。

続いて、同博物館岡山芳治館長による展示解説が行われ、来場者は雑飾りなどの華麗な名品の数々に魅了されていました。

なお、この特別企画展は、11月6日まで開催されます。



▲撮影に向け想いを語る（左から）横山監督、えのきさん、高樹さん

映画「おとめ桜」記者会見 小峰城に伝わる伝説が映画化

8月24日、俳優竹中直人さん主演で、小峰城に伝わるおとめ桜の悲しい伝説を題材にした短編映画「おとめ桜」の記者会見が翠楽苑（南湖公園内）で行われました。

映画を通じ地方の魅力を国内外に発信することを目的として製作されるもので、出演者の高樹滯さん、えのきさりなさん、本市と縁のある監督の横山浩之さんが会見に出席し、「福島の負けないという気持ちを表現したい」などと抱負を語りました。

撮影は翌25日から小峰城などで行われ、10月の公開を予定しています。

お知らせ
News

資源ごみの指定袋「4種類」が「1種類」に統一されます

本庁舎生活環境課 内2165

資源ごみは「かん類・金属類」「びん類」「ペットボトル」「プラスチック類」それぞれの指定ごみ袋での分別排出をお願いしているところですが、市民の皆さんの負担軽減を図るため、指定ごみ袋を現在の「4種類」から「1種類」に統一することになりました。

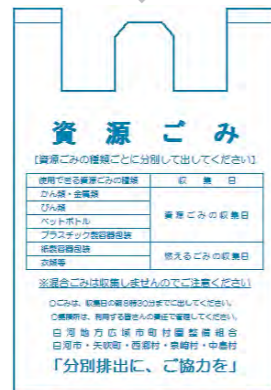
資源統一ごみ袋の導入時期およびスケジュール

資源統一ごみ袋は、平成29年4月1日から導入開始します。10月1日から平成29年3月31日までの6か月間を試行期間とし、白河地方広域市町村圏整備組合事務局から町内会を通して各世帯へ、チラシおよび試行ごみ袋（45ℓ 20枚入り）を無償配布します。

なお、資源統一ごみ袋は平成29年4月1日から販売します。旧指定袋は導入後も使用可能です。



「1種類」に統一



- ▷種類ごとに分別し、決められた収集日に出してください。
- ▷無償配布分がなくなった場合は、現在の指定袋をご利用ください。
- ▷混合ごみの場合は収集しませんので、ご注意ください。

お知らせ
News

白河産米の消費拡大および魅力発信事業

市産米需要拡大推進協議会（本庁舎農政課内） 内2222

「白河産コシヒカリ」は、清らかな水や昼夜の寒暖差などにより、食味に優れ、他のブランド米に引けを取らないおいしいお米です。

松平定信公が地域の産業振興のために興した「白河だるま」をモチーフとし、本市の魅力とともに、白河産米の認知促進、ブランド化を行っていきます。

パッケージデザイン



だるまをモチーフにした紅白のパッケージで、売り場で目に留まり、親しみをもって受け入れられる商品を目指します。

アンバサダー

中通り産コシヒカリとして特Aを獲得している白河産コシヒカリの品質の高さを、幅広く認知してもらうために、分とく山総料理長の野崎洋光さん（しらかわ大使）を「白河産米アンバサダー」に任命し、情報発信していきます。



野崎洋光さん

販路・消費拡大

- ▷県内販路 「白河のお米」についているシールを集めて応募すると、抽選で「しらかわん」や「ダライザー」のランチボックスが当たるキャンペーンを実施します。
- ▷首都圏販路 白河産米をメインに、市産食材を使用した飲食店フェアなどを開催するほか、ふくしま応援シェフに登録されている飲食店を中心に、市産食材の魅力を効果的に発信します。

そのほか、料理教室やお米の学校など、様々なお米に関するイベントを行っていく予定です。

Decoraしらかわ2016 ~未来と希望をデコレーション~

今年もDecoraしらかわ2016を開催します。「未来と希望をデコレーション」をテーマに、「食」と「職（産業）」にスポットを当てた様々なイベントブースで、白河の魅力を堪能できる2日間です。ぜひ、ご来場ください。

Decoraしらかわ実行委員会（公財）白河観光物産協会内 ☎0241147

日時 11月5日(土)／午前10時～午後4時
6日(日)／午前10時～午後3時

会場 白河駅前イベント広場、市立図書館りぶらん多目的ホール・駐車場、白河文化交流館「コミネス」

駐車場 白河厚生総合病院駐車場 ※無料シャトルバスが出ます。



食のブース

- ▷世界一のパスタ職人山田剛嗣シェフによる特別料理の提供
- ▷白河の伝統の食、ラーメン・そばの提供
- ▷白河の美味しい物を丸ごと楽しめる飲食ブース



日本一の更新に挑戦!

2014年は50m、2015年は60mのクレープ作りに挑戦し、見事日本一に認証されました。今年も、市内小学生の協力により、さらなる記録更新に挑戦します。



体験・PRのブース

- ▷白河の伝統技術、匠の技を体験できるブース
- ▷高所作業車・重機など、様々な職業を体験しながら楽しく知り学ぶブース
- ▷企業PRコーナー・製品展示コーナー



同時開催!!

- ▷第20回しらかわ音楽の祭典第1部市民音楽祭
11月5日(土)／午前9時から／白河文化交流館「コミネス」大ホール
- ▷福島子どもみらい映画祭
11月6日(日)／午前10時から／白河文化交流館「コミネス」
- ▷ふるさとの祭り2016
11月5日(土)・6日(日)／午前10時から／市立図書館りぶらん駐車場ほか

ぼんこのころろ

作 本町かずこ

ぶどう



いちいち皮むいたり、ほぎだしたりしなくていいブドウがあんだと!

決意を新たに優勝を目指す

市町村対抗福島県軟式野球大会結団式



▲結団式の様子

8月26日、市役所で「第10回市町村対抗福島県軟式野球大会」に出場する白河市チームの結団式が行われました。

結団式では、選手を代表して穂積英一主将が、大会への意気込みを述べ、選手たちは優勝への決意を新たにしました。

指揮を執るポッチャ競技で見事銀メダル!

パラリンピック出場報告



▲左から村上さん、鈴木市長

8月26日、リオパラリンピックで、ポッチャ競技日本代表のヘッドコーチを務める本市在住の村上光輝さんが、市長に出場を報告しました。

大会では、村上さんが指揮を執る日本代表ポッチャチームが、団体戦で銀メダルに輝きました。

ちょっといいはなし

2年連続受賞、徴収率向上が評価される

個人県民税優良市感謝状を受賞



▲左から鈴木市長、小樽山県南地方振興局長

8月18日、市役所で「個人県民税優良市納税功労知事感謝状」の贈呈式が行われました。

今回の受賞は平成27年度個人県民税の賦課徴収で、効率的な徴収事務により、徴収率が著しく向上したことが評価されたものです。



本町屋台会館落成式
8月28日/本町屋台会館 (本町)



第62回白河市発明展
9月13日/りぶらん (道場小路)

話題を写真で紹介!

Snapshot



そばの花見会&寺コンサート
9月11日/神宮寺 (東坂口)

季節の風景や地域のイベントなど、市民の皆さんが市内で撮影した写真を募集しています。投稿いただいた写真は、広報白河で紹介します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

☎本庁舎秘書広報課 内2373



話題レポート

表郷梁森チーム小型ポンプ操法の部3位入賞!

第40回福島県消防操法大会

9月4日、県消防学校(福島市)で、消防操法県大会が行われ、表郷梁森チームが見事3位入賞を果たしました。



▲3位に入賞した表郷梁森チーム

◆ポンプ車操法の部(7位)

白河方面隊第4分団第2部第1班 (久田野チーム)
指揮者 生田自 浩さん
1番員 深谷裕三さん
2番員 鈴木拓郎さん
3番員 佐藤研二さん
4番員 五十嵐止史さん
補助員 椋川誠司さん

◆小型ポンプ操法の部

表郷方面隊第3分団第2部第1班 (表郷梁森チーム)
指揮者 吉田拓哉さん
1番員 橋本祐真さん
2番員 緑川広樹さん
3番員 緑川規之さん
補助員 緑川広樹さん



コミネス開館記念イベント

《コミネス移管イベント「魂の渡御」》

市民の芸術活動の精神「魂」を新しいコミネスに移管するイベントを開催します。「芸術」「市民」「共楽」を移管する儀式とパフォーマンスなど、幻想的な世界をお楽しみください。

▷日時 10月8日(土) / 午後3時30分～7時

▷場所 市民会館、コミネス

▷内容

魂の送り手 / 市民会館

能楽師による謡、太鼓隊による合同演奏、パレード

魂の受け手 / コミネス

子どもたちによる魂の受領、バルコニー・カギガタモールでの演奏ほか

NHK「新・BS日本のうた」公開収録観覧者募集

コミネス開館を記念し、NHK・BSプレミアム「新・BS日本のうた」の公開収録を行います。日本人の心に深く残る名曲をお届けします。観覧希望の方は往復はがきでお申し込みください。

▷日時 12月1日(日) / 午後6時40分開演 (午後6時開場)

▷会場 コミネス大ホール

▷入場料 無料 (要入場整理券)

▷出演 未定 ※出演者は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

▷応募方法

次の必要事項を記入のうえ、往復はがきで応募してください。はがき1通につき2人まで入場可能です。なお、応募多数の場合は抽選になります。

《返信面の裏》郵便番号、住所、氏名、電話番号
《返信面の表》郵便番号、住所、氏名

▷応募期限 11月1日(火)まで ※必着

※結果は返信はがきで通知します (11月中旬発送予定)。

▷送付先 〒961-8602 白河市八幡小路7-1
教育委員会文化振興課

その他、イベント情報は市およびコミネスホームページをご覧ください。

～録音図書を紹介～

録音図書は、本を読みにくい・読めない方が本を読めるように本の内容(文字や写真・図・グラフ)を録音、編集し、音声化したものです。図書館では朗読CDを所蔵しているほか、録音図書を作成し、より多くの方に本の提供ができるように努めています。

●録音図書に関する本



見えない・見えにくい人も「読める」図書館

公共図書館で働く視覚障害職員の会

図書館のサービスを利用する側、提供する側の両方から、ハンディキャップサービスについて説明されています。すべての人に本を提供するための発見があります。

●朗読CD



御宿かわせみ傑作選2
お吉の茶碗

平岩弓枝 / 松屋有梨 (朗読)

本を読むと本を聞く。同じ本でも違った印象を受け、二度楽しめます。

録音図書編集者養成講座

録音図書の編集者を養成する講座を開催します。入門的な内容から始まりますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

●開催日 11月30日、12月7日・14日・21日 水曜日 計4回 / 午後1時15分～3時15分

●場所 りぶらん地域交流会議室

●対象 パソコンが利用できる方
※原則としてすべての講座に参加でき、講座修了後図書館でボランティアとして活動できる方

●申込方法 りぶらん窓口で直接お申し込みください。

●子ども向け催し案内

おはなしの小屋で行っています。

《ちびっこおはなしのくに》

▽日時 10月20日(木)、11月3日(祝) / 午前11時～11時30分

▽対象 0歳～3歳程度

《おはなし会》

▽日時 10月22日(土)、11月12日(土) / 午前11時～11時30分

▽対象 3歳～小学生程度

●映画上映案内
市立図書館りぶらん多目的ホールで上映される映画で、入場無料です。

《大人向け》

▽内容 「運が良けりや」

▽日時 10月19日(水) / 午後6時～7時35分

▽内容 「ゴジラ」(1954年)

▽日時 11月3日(祝) / 午後1時30分～3時10分 ※11月5日(土)の振替

《子ども向け》

▽内容 「ブスコブドリの伝記」

▽日時 10月15日(土) / 午後1時30分～2時20分

●本の展示
毎月、季節に合わせた本を展示しています。ぜひ、ご覧ください。

《大人向け》

▽テーマ 「鑑賞のすゝめ」

10月23日(日)、文化交流館「コミネス」がいよいよ開館します。そこで今月は、演劇・音楽などの芸術鑑賞の本を集めました。芸術の秋、ミュージカル・舞台・演劇や演奏会などを楽しんでみてはいかがでしょうか。

《子ども向け》

▽テーマ 「どんな秋が好き？」

〇〇の秋といえば、みんなは何を考えるかな。食べ物、スポーツ、いろいろあるけど、今月は芸術をテーマに、音楽や美術に関する絵本や読み物を集めました。たくさん読んで、みんなも詳しくなっちゃおう。

●図書館からのお知らせ

《図書館講座「立体カードを作ろう」》

グリーンディングカードにも使える立体カード作りの講座を開催します。親子向けは簡単なカード、大人

向けは本格的なカード作りを行います。申し込みは10月19日(水)から開始します。

▽日時 ①11月19日(土) ②11月26日(土) / 午後1時30分～3時

▽定員 ①6組(親子向け) ②15人(大人向け)

▽会場 りぶらん地域交流会議室

《雑誌配布》

保存期間が過ぎた雑誌をお譲りします。詳しくはりぶらん館内のポスターなどでご確認ください。

▽りぶらん(第2回) 10月8日(土)～16日(日)

《地域交流会議室第4四半期受付》

▽申請可能な利用期間 1月～3月分

▽申請受付日時 10月6日(木)～16日(日) / 午前9時～午後5時15分(休館日を除く)

※受付は窓口でのみ行います。重複した場合は抽選となります(先着順ではありません)。期間内に申請がなかった会議室は、11月4日(金)から随時申請を受け付けします。



代表 富岡雅美さん

地元生産者の方と協力し、品質の高いえごまを安定して栽培できるように体制を整えています。健康食品として優れ、おいしい地元産のえごまをぜひ味わっててください。

本庁舎農政課 内2225

白河ブランド	
認証第32号	えごまドレッシング
認証第33号	えごまポン酢



㈫日本メグスリノキ本舗 白河が誇る優れた製品を紹介！

表郷・東地区の提携農家で栽培された地元産の「えごま」を使用したドレッシングとポン酢です。「えごま」は「じゅうなん」とも呼ばれ、昔から食べられてきました。最近では健康食品として広く注目を集めています。このドレッシングとポン酢は、「えごま」を手軽においしく食べられるよう工夫し作られています。まろやかな甘みとコクのあるドレッシングは、サラダや豆腐、しゃぶしゃぶに抜群に合います。また、鍋がおいしくなるこのからの季節、鍋料理をえごまポン酢でいただくのもおすすめです。食欲の秋、ぜひ季節の野菜などと一緒に味わってみてください。

シリーズで学ぶ 白河歴史人物伝 Vol.6 谷文晁 定信に仕えた江戸画壇の重鎮 (1763~1840) 谷文晁は、松平定信の実家でもある徳川御三卿・田安家の家臣・谷麓谷の子として江戸に生まれました。絵は10歳の頃より、狩野派の絵師であった加藤文麗に学び、続いて渡辺玄対に学んでいます。寛政4年(1792)には松平定信付となり、以後定信との関係は生涯にわたります。文晁は江戸の下谷(現東京都台東区)に画塾「写山楼」を構え、全国から多くの入門者がありました。中国画、日本画、西洋画などを旺盛に学び、それらを折衷して幅広い画風の作品を残しました。当時江戸の絵師としては最も有名な人物の一人でした。

文化財課 ☎23310



▲「白河築翁公下屋敷真景図」小峰城三之丸の庭園を描いた作品。小峰山房で描かれたもの(白河市歴史民俗資料館蔵)。



▲「杭州四季風俗図巻」中国の風俗図を模写した作品。(白河集古苑で11月6日(日)まで展示中(松浦史料博物館蔵))

編さんした際にも、文晁が関わりました。二人は私的に多くの書や絵のやり取りをしています。《白河での足跡》 文晁の弟子には、白河の絵師である大野文泉、蒲生羅漢などがいました。また、文晁作品の中には、落款に「於小峰山房」などと書かれたものが数点確認されています。これは文晁が定信に伴って白河を訪れた際、小峰城内に構えた工房で制作した作品で、白河における制作活動をうかがわせる貴重な資料でもあります。

Facilities information

施設情報



▶歴史民俗資料館 (中田7-1 / ☎2310)

【利用案内】

- 開館時間 午前9時~午後4時
- 休館日 毎週月曜日(10月10日(祝)は開館し、11日(火)は休館)

●入館料 無料

【催し案内】

◇平常展示 「白河の歴史と文化」



松平定信筆 達磨図 (白河市歴史民俗資料館蔵)

▶白河集古苑 (郭内1-73 / ☎245050)

【催し案内】

◇特別企画展

「松平家と松浦家- 養姫の婚礼調度と松浦家の名宝 -」

- 会期 11月6日(日)まで
- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休館日 毎週月曜日(10月10日は開館し、11日は休館)

●入館料 大人320円(250円) / 小中高生無料 ※ () は20人以上の団体料金 ※11月3日(祝)は無料

《展示解説会》

- 日時 10月10日(祝)・23日(日)、11月6日(日) / 午前11時から、午後2時から ※申込不要、11月6日は松浦史料博物館学芸員による解説。

《茶道鎮信流による呈茶》

- 日時 10月15日(土)・29日(土) / 午前10時~午後3時

●参加料 無料 ※入館券の半券が必要です。



おらんだせんず とうせんず 阿蘭陀船図「唐船之図」より (松浦史料博物館蔵)

▶総合運動公園 (北中川原30 / ☎28971)

◇しらかわスポーツフェスティバル ギネスにチャレンジ!、体力測定などのイベントを開催します。

●日時 10月10日(祝) / 午前10時から ※9時30分から受付開始

- 参加料 無料
- 持参物 屋内用シューズ

▶サンフレッシュ白河 (久田野城内31 / ☎31019)

◇シェイプアップエクササイズ

●日時 10月16日(日) / 午前9時30分~10時15分

- 講師 渡邊俊治郎氏
- 対象 一般男女(中学生以上) 50人
- 参加料 500円
- 申込方法 電話で直接お申し込みください。 ※先着順

☎MAC鈴木光代 ☎090-1495-0672

▶中央公民館 (天神町2 / ☎23810)

◇第34回中央公民館習作展

●会期 10月27日(木)~30日(日)

●開館時間 午前9時~午後6時 ※初日は午前10時から、最終日は午後3時まで

▶東文化センター (東釜子字狐内47 / ☎241131)

◇東総合文化祭芸能発表会

●日時 10月23日(日) / 午前9時30分~午後4時

- 入場料 無料
- ☎東公民館 ☎243159

▶翠楽苑 (南湖公園内 / ☎236888)

◇紅葉ライトアップ

●日時 10月24日(月)~30日(日) / 日没~午後8時 ※10月27日(木)を除く

●入場料 無料



募集

第4回街なか定期座 禅会

- 日時 11月6日(日)／午前7時から
- 会場 長壽院(本町北裏)
- 定員 20人 ※先着順
- 参加料 500円
- 申込方法 事前に電話でお申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎まちづくり推進課 内2743

パソコン教室

- 《年賀はがき講座》
- 日時 11月18日(金)／午前9時～正午
- 内容 ワードとエクセルで作る年賀はがき作成講座
- 申込開始 10月11日(火)から
- 受講料 2、160円
- 《昼間中級講座(3級受験対策)》
- 日時 11月25日(金)～12月16日(金)(毎週月・水・金曜日)／午前9時～正午
- 内容 ワード、エクセルの活用、3級試験練習問題

市民フォーラム

- 少子高齢化社会の中、「支え合う地域しらかわ」の実現に向けて、市民フォーラムを開催します。
- 日時 10月26日(水)／午後1時15分～4時
- 会場 りぶらん地域交流会 議室(道場小路)
- 内容 (公財)さわやか福祉財団会長堀田力氏による基調講演、パネルディスカッション
- 定員 150人 ※要申込
- 参加料 無料
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎高齢福祉課 内2729

成人式

- 日時 平成29年1月8日(日)／午後1時30分から
- 会場 コミネス大ホール(会津町)
- 該当者 平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方で、10月1日現在市内に住所を有する方(該当者には案内状を送付します)。
- ※市外にお住まいで、本市の

- 申込開始 11月1日(火)から
- 受講料 1万800円
- 共通
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 定員 各15人 ※先着順
- 申込受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ
- 申込方法 受講料を添えて、センター窓口へ直接お申し込みください。
- 同センター ☎②3512

国際農友会海外派遣研修

- 派遣国 アメリカ合衆国
- 期間 平成29年1月23日(月)～2月1日(水)
- 資格要件 県内に居住し、農業に従事する20歳以上の方
- 申込期限 10月21日(金)まで
- ※費用など、詳しくはお問い合わせください。
- 申し込み・問い合わせ先 県国際農友会事務局 ☎024152411201

樹木せん定講習会

- 日時 11月10日・17日 木曜日／午前10時～午後3時
- 会場 りぶらん地域交流会

- 成人式に出席を希望される方は、お申し込みください。
- 本庁舎文化振興課 内2383

サンライズびがしフェスティバル2016

- 日時 11月3日(祝)／午前10時～午後3時30分
- 会場 東風の台運動公園内(東釜子)
- 内容 五合飯早食い大会、ステージイベント、日本一に挑戦シリーズなど
- 同実行委員会事務局(東庁舎事業課内) ☎④2115

ふるさと白河表郷まつり

- 日時 11月6日(日)／午前10時～午後4時
- 会場 表郷総合運動公園内(表郷番沢)
- 内容 ステージイベント、模擬店、お楽しみ抽選会など
- 同実行委員会事務局(表郷庁舎事業課内) ☎④4785

東北歴史まちづくりサミット

- 地域の歴史的な資源を活用したまちづくりで注目を集め

- 議室(道場小路) および城山公園(郭内)
- 内容 松・梅などの初歩的なせん定方法等の講義と実習
- 定員 30人 ※先着順
- 受講料 無料
- 申込期限 10月27日(木)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎観光課 内2215

案内

行政相談週間

- 10月17日から23日までは、「行政相談週間」です。
- 相談週間中は、「特設行政相談所」を開設します。相談は無料で、秘密は厳守します。
- 日時 10月20日(木)／午後1時～3時
- 会場 本庁舎地下第1会議室

行政相談委員

- ▽内田宜枝(郭内5) ☎③3518
- ▽中村周常(本町26) ☎③4357
- ▽鈴木博之(表郷番沢字樋ノ口62-1) ☎③3157
- ▽内藤直方(大信下小屋字西

- る、東北6県の7市町長が一堂に会し、歴史まちづくりサミットを開催します。
- 日時 11月10日(木)／午後1時15分～5時
- 会場 コミネス小ホール
- 内容 基調講演、パネルディスカッション
- 定員 300人 ※要申込
- 参加料 無料
- 申込期限 11月4日(金)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎まちづくり推進課 内2746

第22回「中山義秀文学賞」公開選考会

- 日時 11月13日(日)／午前10時から
- 会場 新白信ビルイベントホール(立石)
- 参加料 無料
- 候補作品 ▼眩／朝井まかて著 ▼たらふくつるてん／奥山景布子著 ▼家康、江戸を建てる／門井慶喜著
- 中山義秀顕彰会 ☎④3614

女性のキャリア形成支援講座

- 日時 11月26日(土)／午後2時から

- 宿25) ☎④2547
- ▽鈴木憲昭(東釜子字本町98-12) ☎④2625
- ※自宅等でも相談に応じます。
- 本庁舎総務課 内2313

原子力損害賠償に係る「巡回法律相談」

- 原子力事故に伴い損害を受けている個人・事業者を対象に、巡回相談会を行います。
- 日時 10月20日(木)、11月17日(木)／午後1時30分～3時45分
- 会場 白河商工会議所2階 交流室(道場小路)
- 申込方法 事前に電話でお申し込みください。
- 原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口 ☎024152118216

公設市場開放デー

- 日時 10月23日(日)／午前7時～正午
- 会場 市公設地方卸売市場(五番町川原)
- 内容 模擬セリ体験、マゴロ解体ショー、サンマやみかんの詰め放題など
- 市場開放デー実行委員会事務局 ☎④4100

- 会場 白河商工会議所会議室(道場小路)
- 内容 ▼講演 「企業における男女共同参画」 ▼講師 (株)東邦銀行職員活躍推進室長 兼パートナー支援室長 戸田満紀子氏
- 申込開始 10月17日(月)から
- 定員 30人 ※要申込
- 参加料 無料
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎文化振興課 内2383

県南都市計画用途地域・特別用途地区の変更

- 県南都市計画用途地域と県南都市計画特別用途地区の変更を、9月1日付けで都市計画決定しました。詳しくはお問い合わせください。
- 本庁舎都市計画課 内2282

平成27年度一般会計等決算審査意見書提出

- 9月6日に監査委員から一般会計等決算審査意見書を市長へ提出しました。
- 詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 本庁舎監査委員事務局 内2522

案内

第1回認知症フォーラム in しらかわ

- 日時 11月11日(金)午後1時30分〜4時30分
会場 コミュニス小ホール(会津町)
内容 《第一部》▽講演「人と人の絆、家族への思いやり老いをイキイキ!」▽講師 フリーアナウンサー小谷あゆみ氏/《第二部》▽体操 「みんなで認知症予防!」▽講師 ふくしまをリハビリで元気にする会理事長 岡本宏二氏
定員 300人 ※要申込
参加料 無料
申し込み・問い合わせ先 東部地域包括支援センター ☎08889

認知症初期集中支援

認知症の方や認知症が疑われる方を対象に、専門医と医療や福祉の専門員によるチームが初期段階の集中的な支援を行います。

第3期福島県文化振興財団助成事業

- 県では、文化活動支援を目的に、12月1日(木)から平成29年3月31日(金)までに行う次の対象事業の助成申請を受け付けます。
対象事業 県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体の行う文化活動(成果発表事業、発表会等への参加事業、文化財の保護事業など)
受付期限 10月31日(月)まで
本庁舎文化振興課 内2388

入札参加資格審査申請

- 平成29・30年度の入札参加資格審査申請を受け付けます。市ホームページから記入要領および申請用紙を取得し、必要事項を記入のうえ、指定のA4ファイルにて次の区分により提出してください。
《建設工事・測量等》
期間 11月1日(火)〜30日(水)
※受付時間など、詳しくは市ホームページをご覧ください。
受付場所 本庁舎2階202会議室

- 相談窓口 地域包括支援センター(明戸) ☎0332/東部地域包括支援センター(関辺) ☎08889
本庁舎高齢福祉課 内2729

社会生活基本調査

総務省統計局では、様々な政策立案に役立てるための基礎資料を得るために、社会生活基本調査を実施します。10月上旬から調査員が調査対象世帯に伺いますので、調査にご協力をお願いします。
県統計課 ☎024-521-7145

小野田小児童増加促進対策(宅地分譲事業)

若年層の定住化等を図るため、一定期間居住後に無償譲渡となる宅地分譲事業の募集期間を延長します。
詳しくは市ホームページをご覧ください。
場所・区画数 東下野出島字小丸山内/5区画
申込期限 12月20日(火)まで
申し込み・問い合わせ先 東庁舎地域振興課 ☎211

まちかど

- 提出方法 持参のみ ※郵送不可、ファイル色指定あり。《物品購入・役務の提供等》
期間 11月1日(火)〜12月28日(水) ※平日のみ
受付場所 本庁舎3階財政課管財係
提出方法 持参または郵送 ※郵送の場合は12月28日消印有効
建設工事・測量等 本庁舎工事契約検査室 内2252/物品購入・役務の提供等 本庁舎財政課 内2335

「白河ハリストス正教会」一般公開

- 県の重要文化財に指定されているイコンなど、この機会にご覧ください。
公開日時 11月3日(祝)〜6日(日)午前10時〜午後3時
入場料 無料
同教会 ☎4543

市民天体観望会

- 日時 10月23日(日)午後6時〜7時30分 ※曇りや雨の時

無戸籍者解消のための相談窓口

市および法務局では、無戸籍者の相談窓口を開設いたします。秘密は守られますので、ご相談ください。
福島県地方務局白河支局 ☎21201/本庁舎市民課 内2151

全国学力・学習状況調査の結果公表

市では、4月19日に各小・中学校で実施した調査結果と考察を市ホームページで公表しています。
※調査で分かるのは、児童生徒が身につけた学力の一部です。各学校や個人の順位を公表するものではありません。
本庁舎学校教育課 内2360

白河市土地改良区合併50周年記念式典

- 日時 11月23日(祝)午後2時から
会場 コミュニス小ホール
内容 記念式典、中畑清トークショー

立教志塾定例研修会

- 日時 10月25日(火)午後6時30分から
会場 りぶらん地域交流会議室(道場小路)
内容 ▽講演 「喜んで生きる」輝いているのだから」▽講師 芳賀徳也氏
入場料 500円
(公財)立教志塾 ☎1427

「テラブレーション」語りの祭典 in しらかわ2016

- 語りで聞く昔話や童話の世界をお楽しみください。
日時 11月3日(祝)午後1時30分〜4時
会場 中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)
参加料 無料

- 定員 100人
参加料 無料 ※整理券が必要。整理券は土地改良区事務局で配布します。
申し込み・問い合わせ先 同事務局 ☎21158

はじめてのフランス語講座

- 日時 10月21日、11月4日、11日、12月2日・16日 金曜日 計5回/午後6時30分〜8時30分
会場 りぶらん地域交流会議室ほか
講師 ノワロー・ジョンII
内容 フランス語会話研修
定員 30人 ※応募多数の場合は抽選となります。
受講料 3,000円
申込期限 10月18日(火)正午まで ※電話、FAX、Eメールでお申し込みください。
FAX、Eメールの場合は、氏名、連絡先を明記ください。
申し込み・問い合わせ先 国際交流協会事務局(本庁舎企画政策課内) 内2326/FAX ☎2577/Eメール kokusai-koryu@city.shirakawa.fukushima.jp

大統寺のそばと落語の会

- 日時 11月20日(日)午前11時から
会場 大統寺(馬町)
内容 ▽蝶花楼馬楽師匠の落語会 ▽浅草老舗「駒形どぜう」六代目のそば打ちと食事会
定員 各60人
参加料 無料
申込期限 11月10日(木)まで
大統寺 ☎2723

福祉講演会

- 日時 11月26日(土)午後1時30分から
会場 東文化センター(東釜子)
内容 ▽講演 「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」▽講師 声優・俳優増岡弘氏
参加料 無料 ※整理券が必要。整理券は10月31日(月)から社会福祉協議会各事務所で配布します。
社会福祉協議会 ☎1159

保健情報



健康増進課(中央保健センター) ☎②112

10月は乳がん月間です

～2年に1度の検診受診と、月に1度の乳がん自己検診を心掛けましょう～

日本では、乳がんになる女性が年々増えていて、年間5、6万人と推定されています。2014年には1万3,323人が亡くなり、死亡者数は50年間で7倍になっています。

40歳前後を境に、乳がんが増えてくる人が増え始め、35歳から64歳までの年齢層では、がん死亡原因の1位は乳がんです。

若い世代の乳がんも年々増え、まれに20歳代でかかる人もいます。月に1度は、鏡で乳房の変化をチェックし、触ってしこりがないか確認しましょう。

12月22日(木)まで、市の指定医療機関で「乳がん個別検診」を行っています。40歳以上の方で昨年受診していない方はぜひ受けましょう。

心の健康相談

眠れない、イライラする、生きていくのがつらい、大切な人を自死でなくし、つらい思いや悲しみを抱えているなど心の悩みについて、専門の医師による個別相談を開催します。また、電話による相談も随時受け付けています。

- 日時 11月16日(水)/午後0時45分～1時15分 ※要予約
- 会場 中央保健センター (北中川原)
- 申込先 健康増進課

高齢者のインフルエンザ予防接種

インフルエンザはウイルスによって発症し、その症状は突然の高熱、関節痛などで、普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。重症化すると、体力のない高齢者などは生命に関わる場合がありますので、かかりつけの医療機関で、早めに予防接種を受けることをお勧めします。

市では、次の対象者に接種費用の一部を助成します。予防接種は、本人が希望する場合のみ行うもので、接種回数は1回です。

- 対象
 - 本市に住居登録がある方で、①または②に該当する方
 - ①接種当日65歳以上
 - ②接種当日60歳から64歳で「心臓、じん臓、呼吸器に機能障がいがある方」または「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障がいがある方」(どちらもその障がいの程度が身体障がい者手帳1級に相当する方)
- 実施期間 10月15日(土)～12月28日(水)
 - ※事前にかかりつけ医等に予約してください。
- 料金 1,200円
 - ※県外で接種する場合、手続きが必要ですので、必ず接種する前にお問い合わせください。後日、市が3,000円を限度に助成します。なお、接種後に申し出た場合は、市の助成は受けられません。
 - ※生活保護世帯の方は無料です。かかりつけ医等に直接お申し込みください。
- 持参物
 - 健康保険証または後期高齢者医療被保険者証、健康手帳(お持ちの方のみ)、対象②に該当する方は身体障がい者手帳等
- 予診票
 - 各医療機関に用意してある予診票をご利用ください。
- その他
 - 妊婦、子ども、65歳未満の成人は任意接種となり、接種費用の助成はありません。

子育て情報



「おやこの食育教室」参加者募集

市食生活改善推進協議会では、親子で調理をしながら食育を学ぶ、「おやこの食育教室」を開催します。

- 日時 10月23日(日)/午前10時～午後1時
- 会場 中央保健センター (北中川原)
- 対象 幼稚園年長児から小学生までの子どもと保護者
- 定員 20組 ※先着順
- 参加料 子ども100円、保護者200円
- 持参物 エプロン・三角巾・タオル
- 申込期限 10月14日(金)まで
- 申し込み・問い合わせ先
 - 健康増進課(中央保健センター) ☎②114

プレーカーであそぼ!!～「あそぼっカー」がくるよ!!～

プレーカーは遊び道具や工具をたくさん積んだ「移動式遊び場」です。年齢制限はありませんので、みんなで楽しく遊びましょう。

- 日にち・場所・内容
 - 10月15日(土)/たんぼぼサロン(郭内)/工作ほか、七輪で焼いて食べよう
 - 12月10日(土)/高山コミュニティセンター(新白河)/クリスマス会&プレーカー ※予約制
- 時間 午前10時～午後3時
- 参加料 無料
- NPO法人子育て環境を考える虹の会たんぼぼサロン ☎②7337
 - (火・水・金曜日/午前10時～午後3時)



特定不妊治療費助成

市では、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成しています。県特定不妊治療費助成事業の助成決定を受けた方が対象となりますので、治療を希望する方は県の決定通知書が届いてから申請してください。

- 対象 次の要件をすべて満たす方
 - ①戸籍上の夫婦で、夫婦ともにまたは一方が市内に住所を有する方
 - ②治療開始日における妻の年齢が43歳未満である夫婦
 - ③夫婦合算の年間所得が730万円未満
 - ④夫婦に市税の滞納がないこと
 - ⑤県が指定した医療機関で不妊治療を受けた方
- 対象治療 保険診療の適用とならない体外受精・顕微授精
 - ※平成28年4月から特定不妊治療の一環として、男性不妊と判断された場合の手術を伴う治療も対象になります。
- 助成内容 1回の治療に対し、県で受けた助成額の決定額を差し引き、治療内容により5万円から10万円を限度に助成
 - ※限度額に満たない場合は、その額が助成額になります。

本庁舎こども支援課 内2718



11月の健康相談のお知らせ

実施日	開始時間	会場
9日(水)	9:30～	東保健センター
14日(月)	9:30～	表郷保健センター
16日(水)	10:00～	大信保健センター
17日(木)	10:00～	蕪内公民館
24日(木)	13:15～	アナビススポーツプラザ

11月休日救急医療当番医

歯科	医療機関名	住所	電話番号
3日(祝)	白河歯科クリニック	会津町	②7133
6日(日)	和田歯科医院	矢吹町曙町	④4180
13日(日)	内藤歯科クリニック	久田野	②7252
20日(日)	国井歯科医院	大信増見	④2558
23日(祝)	吉田歯科クリニック	中島村二子塚	⑤1661
27日(日)	九番町歯科クリニック	九番町	②7371

内科・外科	医療機関名	住所	電話番号
3日(祝)	きたむら整形外科	矢吹町八幡町	④5533
6日(日)	小針医院	矢吹町曙町	④2366
13日(日)	渡部医院	矢吹町文京町	④4111
20日(日)	きくち診療所	中島村滑津	②18672
23日(祝)	白河市表郷クリニック	表郷金山	②2316
27日(日)	田口医院	郭内	②1111

小児科	医療機関名	住所	電話番号
3日(祝)	関医院	横町	③3003
6日(日)	樋口小児クリニック	矢吹町大久保	④2040
13日(日)	みうら小児クリニック	白坂	②1001
20日(日)	わたなべ子どもクリニック	老久保	②1666
23日(祝)	ねもとキッズクリニック	立石山	②5623
27日(日)	岡崎小児科内科医院	結城	③7811

仕事柄、よく東京に出向く。朝、白河を発つても、午前10時の会議に楽々間に合う。いくつか用事を済ませても、夕食の頃には戻れる。いかに便利なことか。北海道や九州の市長と話すときよく分かる。東京からの距離にもよるが、新幹線の存在が大きい。日本の高速鉄道は、安全・快適・高速性で世界の先端を走る。

鉄道技術は、フランスやドイツも優れており、フランスの「TGV」は、新幹線よりも速い。しかし、運行数と正確さでは、断然日本が勝る。混雑時の東京駅では3〜5分毎に、しかも定刻どおり発車する。欧米人の目には奇跡のように映るらしい。さらに東海道では、高速の「のぞみ」、快速の「ひかり」、各駅停車の「こだま」が同じ路線を走る。

当然、後発の列車が、先行列車を追い越す。在来線との連結もある。ダイヤ編成は極めて緻密で複雑となる。これを円滑にこなすには、定時運行が絶対の条件だ。新幹線は難しい課題を、見事に克服している。それができたのは、旅の歴史的文化的な背景と、日本人の特性によるものと思われる。

『参勤交代と新幹線』



運行数が多いのは、大量の人が移動することを意味する。そもそも日本人は好きだ。平和が保たれた江戸時代から、特に盛んになった。オランダは長崎で貿易を許され、商館長は將軍に謁見するため、定期的に江戸へ向かった。これに随行した医師ケンペルは、「街道は清潔で、ヨーロッパの都市と同じくらい大勢の人で溢れている」と道中記に記す。

五街道が整備され、治安もよい。手甲、脚絆程度の装備で、女性、子供までが旅をした。抱腹絶倒の「東海道中膝栗毛」は旅心をかきたてた。弥次喜多コンビは、近くへ用足しに行くような気楽さで、旅に出る。広重の「東海道五十三次」に描かれる旅人も、ほとんどが軽装だ。戦が絶えなかった同時代のヨーロッパでは、武装するのが当たり前。毛布を用意し、ベッドも持参するのが旅の心得。日本はおとぎの国だった。

旅には宿が欠かせない。宿場には、本陣とよばれる高級な旅館から木賃宿まで、宿が揃っていた。人や荷物を効率的に運ぶため、馬と人足を備えた問屋場もあった。旅人は必要に応じて、馬や駕籠を利用できた。荷を次の宿へ先送りし、不要なものを故郷へ送り返すこともできた。当時から「宅急便」を含め、周到な交通・輸送システムがつけられていた。あらためて江戸人の知恵に驚く。

街道や宿場の整備は、参勤交代に負うところが大きい。諸大名が江戸と在藩を一年毎に繰り返す。各藩は格式に見合った供廻りを揃え、春先になると一斉に移動する。日程は幕府に提出し、滅多な事では変更できない。行列が重なる、本陣の奪い合いにもなりかねない。

ルートを決め、宿も決める。綿密に打ち合わせ、行程を確定していく。実に骨の折れる仕事だ。浅田次郎は、中山道を江戸に向かう一行の難儀を「一路」に描く。複雑な集団移動のプランを練り、正確に実行する参勤交代は、新幹線の運行に引き継がれているように思える。

社会の安定は経済的余裕を生み、名所観光への関心が高まる。これに信仰の旅が拍車をかけ、旅行の環境を整えた。国民的行事のような伊勢や金比羅神社参詣は、各地の祭礼や名物料理を楽しむ旅でもあった。ケンペル記にも「街道は寺社詣の人でいっぱい」とある。

全国の善男善女が、願かけに押し寄せた。その陰には「御師」と呼ばれる、客集めの営業マンがいた。御師の業務は、道案内から参拜手続きは勿論、宿の手配、土産物の世話にまで及ぶ。旅行業の先駆けと言える。江戸から今に至るまで、日本人の旅への興味、憧れは続いている。金沢、函館へ伸びた新幹線は、さらに多くの人の夢を乗せ、列島をかける。

《11月の日曜窓口》(本庁舎)
▷日時 6日(日)・13日(日)・20日(日)・27日(日)
午前8時30分～正午
《納期限》10月31日(月)
◇市県民税(第3期)
◇国民健康保険税(第4期)
◇介護保険料(第4期)
◇後期高齢者医療保険料(第3期)

《9月1日現在の人口》
▷人口 61,955人(−9)
男 30,683人
女 31,272人
▷世帯 23,423世帯(+5)
※()内は前月比

《市営住宅の募集》

市営住宅の募集は、毎月15日に発表しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



11月の献血

実施日	実施事業所	住所	時間
3日(祝)	メ ガ ス テ ー ジ 白 河	新高山	11:30~16:30
17日(木)	住友ゴム工業(株)白河工場	双石	11:00~16:00

11月の無料相談

種類	開設日	時間	会場・問い合わせ先	内容
弁護士法律相談(要予約)	2日(水) 16日(水)	①10:00~12:00 ②13:00~16:00	●本庁舎地下第3会議室 ☎本庁舎生活環境課 内2168	多重債務、離婚・相続問題などの法的なトラブル、被災者の抱える二重ローン問題の相談など
	8日(火)	10:00~12:00	●大信農村環境改善センター ☎大信庁舎地域振興課 ☎2111	
	9日(水)	10:00~12:00	●本庁舎地下第3会議室	
	24日(木)	13:00~16:00	☎本庁舎生活環境課 内2168	
市民あったか相談所	月~金曜日	8:30~17:15	●本庁舎生活環境課(1階) ☎本庁舎生活環境課内専用電話 ☎21717	市行政等に関する相談
心配ごと相談	8日(火) 22日(火)	10:00~12:00	●中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原) ☎社会福祉協議会 ☎4222	生計、家族に関することなど
障がい者相談会(要予約)	22日(火)	13:30~	●本庁舎地下第1会議室 ☎本庁舎社会福祉課 内2714	障がいに関する相談
心の健康相談(要予約)	16日(水)	13:30~15:00	●県南保健福祉事務所(郭内) ☎県南保健福祉事務所 ☎5649	うつ状態、ひきこもりなどに関すること
認知症の人と家族の会	27日(日)	13:30~15:30	●中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原) ☎同県南地区事務局 ☎2394	認知症本人と家族の相談や話し合いなど
ハートライン(いじめ等相談電話)	月~金曜日	9:00~18:00	☎ハートライン相談専用電話 ☎0800-800-1893(フリーダイヤル)	児童・生徒のいじめ等に関する相談

《善意の窓》
《愛の基金》
♥5万円 山口浩三 様(表郷金山)、森本恭三 様(飯沢)、星 麟太郎 様(新白河)
♥3万円 鈴木喜代子 様(小田川)
♥5千円 金勝寺ボランティア 佐藤 力 様
《ふるさと納税》
♥6万円 大和田素信 様(いわき市)
♥3万円 川崎秀徳 様(静岡県静岡市)
♥5万円 佐藤勝三 様(福島市)
♥10万円 市川大助 様(神奈川県横浜市)
♥1万円 鈴木敏江 様(大阪府吹田市)
♥2万円 巻田吉史 様(茨城県笠間市)、三浦 博 様(神奈川県横浜市)
《小峰城郭復元基金》
♥3万円 NPO法人極真カラテ門馬道場 様
《コミネスの振興のため》
♥コンサートブランドピアノ トーモク(株) 代表取締役会長 齋藤 敬 様
♥車両1台(公財)藤田教育振興会 理事長 藤田彌五兵衛 様
♥1,000万円(株)東邦銀行 様
♥100万円 白河ロータリークラブ・白河南口ロータリークラブ・白河西ロータリークラブ 様
♥5万円(株)常陽銀行白河支店 様、(株)福島銀行白河支店 様、(株)大東銀行白河支店 様
《学校給食への提供》
♥小松菜 江戸川区学校給食友の会 代表 小原英行 様
《仮設住宅等支援者》
♥日本カイロプラクターズ協会 様 (8月分)

今月号の

締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。ラーメンへのこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの思いを紹介します。

第6回

田楽食堂



住所：田町92
営業時間：11:00～15:00、17:00～19:00
定休日：月曜日（祝日の場合は営業）

昭和42年に初代店主の辺見ミサ子さんが、田町で「楽」しめる場所を作りたいと創業。現在は3代目店主の「一也」さんがお店を切り盛りし、来年3月で50周年を迎えます。

おすすめは辛しソタンメンで、常連客の要望から生まれた逸品です。自家栽培のニンニクをはじめとした野菜を加え、火を入れ寝かせた自家製みそが自慢です。炒めた野菜の甘さと、ピリっとした辛しみそのバランスが絶妙で、スープとコシのある自家製麺がよく絡みます。

ほかに、川俣シャモや豚肉をベースとした人気の醤油ラーメンや、定食類などのメニューも豊富です。白河ラーメンを広めるため、積極的に県内外のイベントに出店しているほか、時代やお客様のニーズに合った作り方や味を日々探究し、周りのお店と切磋琢磨しています。

「祖母が始めた田町で楽しめる場所を引き続き残していくために、試行錯誤をしながら、お客様においしかったと言ってもらえるように努力していきたい」とラーメンにかける思いを話してくれました。

人物Report

～注目のあの人を紹介～

うすい しゅうめい
碓井 秀明 くん

第62回白河市発明展で市長賞を受賞した碓井秀明くん（みさか小4年）。碓井くんが発明した「6種類仕分けちょ金箱」は、市内小・中学校10校から応募のあった435点の中から選ばれました。この貯金箱は、穴の大きさを変えることで、1円から500円まで6種類の硬貨を仕分けて貯金できるものです。

「普通の貯金箱だと、いろんな硬貨が一緒に入って欲しいものだけ取り出すのが大変だったので、この作品を発明しました。穴の大きさを変えることが大変でした。市長賞を受賞してうれしいです」と笑顔で話してくれました。



《白河市ホームページ》



最新の情報をチェック

《マチイロ（旧i広報紙）》



アプリで情報チェック

《白河市公式ページ》



旬な話題をチェック



「広報白河」は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。